

近畿における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：町登志雄（MASH 大阪）、宮田りりい（SWASH/MASH 大阪）
陰山朋久、宮階真紀（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

研究要旨

大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『distaでピタッとちえつくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施し、ゆうそう検査機会の拡大も継続した。

distaでピタッとちえつくんの利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。¥0性病検査！頼れる街のお医者さんの利用者はI期が120人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者30人、B型肝炎陽性者0人であった。II期は113人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者21人、B型肝炎陽性者1人であった。

ゆうそう検査は総計200キットを配布し、実際に検体を郵送会社に郵送したものは83人であった。そのうち97.6%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件（推定新規陽性率1.7%）、梅毒の陽性件数は10件（既感染も含む）（推定新規陽性率1.7%）であった。検体を郵送した83人のうち、60人はアンケート結果との連結に同意していた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た22名においては、30歳未満が18.2%を占めた。近畿地域の居住者が95.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は13.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち63.6%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は22.7%であった。

WEB配布かつID連結の同意を得た38人においては、30歳未満が15.8%を占めた。近畿地域の居住者が89.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.8%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち34.2%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は39.5%であった。

新型コロナウイルス感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査の進行には困難、課題があったが、今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所のHIV検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は7割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、大阪地域では自己採血のDBS検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査のコミュニティセンターdistaでの対面配布、WEB配布を実施した。MSMが利用しやすいHIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行う。また大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『distaでピタッとちえつくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施した。

B. 研究方法

コミュニティセンターdista での検査会『distaでピタッとちえっくん』の方法は大阪市と協働し、過去に報告した内容と同様の方法で行った。今年度は曜日を固定し、隔月で6回の検査を行った。

大阪府、大阪健康安全基盤研究所と協働としたクリニック検査『¥0 性病検査！頼れる街のお医者さん』は、1期を2021年8月1日～9月30日、2期を2021年11月1日～12月18日で開催し、MASH大阪は広報を担った。

郵送検査キットは、コミュニティセンターdistaでは、MASH大阪では主に4つの方法で配布した。

- ①dista 来場者へ配布
- ②TwitterDM/メールを使った配布
- ③ハッテン場やイベント会場での配布
- ④ゲイ向け商業施設利用者向け資材「イクなび」

(MASH大阪寄付金制作)、情報を掲載し、ゲイ向け商業施設アウトリーチした。またゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでのバナー広報、twitterでの広報を実施した。dista 来場者への郵送検査キット配布は情報を伝え、手渡した。ガイドンスには下図のようなガイドンスシートを作成し、使用した。

1	ゆうそう検査キット事前説明
下記の内容がわからないことはありませんか？内容を理解したら、「次に進む」と返信ください。	
①	ゆうそう検査は、HIVのスクリーニング検査と梅毒の抗体検査の結果がわかります。
②	HIV検査結果が陽性の時は、確認検査（本当にHIVに感染しているかどうかを調べる検査）を受ける必要があります。
③	ゆうそう検査では、特設サイトに申込IDとパスワードを入力して、自分一人で結果を知ることができます。そのため申込IDとパスワードは大切に保存・保管ください。
④	結果が陽性の時は、確認検査を受ける場所を自分で探しますが、distaや、ゆうそう検査サイトでも相談ができます。
⑤	採血は、2枚のろ紙に2cm位まで血を染み込ませる必要があります。
⑥	感染の機会から3ヶ月経過してからの結果がわかります。

Twitterではダイレクトメールを活用して以下のようなやりとりをふまえて配布した。
例)

Q：郵送検査キットを受けたいです。

= 1回目の返信=

D：このままDMで説明いたします。事前説明の後、webアンケートへの回答をお願いします。
D：事前説明のための画像をお送りします。内容をよくご確認ください。

D：(事前説明画像送信)

D：内容が確認できましたら、次にWEBアンケートへの回答をお願いします。

D：https://www.gmhp.jp/SH-2020/945495

D：最終画面に数字8桁のIDが表示されます。

(IDは申し込み用紙記入時に必要になるため、スクショなど画面を保存することをお勧めいたします。)

Q：アンケートに答えました。

= 2回目の返信=

D：下記サイトから、ゆうそう検査キットの受取登録ができます。

D：https://www.std-lab.jp/e/DST01

D：ご案内は以上となります。

D：今は、HIVは適切な治療を行うことで、性行為で感染しない時代となりました。U=U (https://uu.japan.jp/) など、HIVの情報も日々アップデートされています。ご利用ありがとうございました。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) distaでピタッとちえっくんの概要

外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においては性感染症に関する知識や情報を提供できる機会も設けた。利用者は144人で、HIV新規陽性者2人、梅毒陽性者20人であった。

2) ¥0性病検査！頼れる街のお医者さんの概要

結果はI期が120人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者30人、B型肝炎陽性者0人であった。II期は113人利用し、HIV陽性者2人、梅毒陽性者21人、B型肝炎陽性者1人であった。

3) 検査キットの配布日・配布件数

2021年10月1日から12月26日まで配布した。①dista来場者へ配布では59人、②TwitterDM/メールを使った配布では68人、③ハッテン場での配布では32人、イベント会場では41人が受け取り、総計200キットを配布した。

4) 検査キット検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答したもので有効回答であったのは92人であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは83人であった。そのうち97.6%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件（推定新規陽性率1.7%）、梅毒の陽性件数は10件（既感染も含む）（推定新規陽性率1.7%）であった。

検体を郵送した83人のうち、60人はアンケート結果との連結に同意していた。

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	大阪
	CBO	mash大阪
	コミュニティセンター	dista
a 配布総数		200
対面配布数		132
WEB配布数		68
b 受検者アンケート回答者数		92
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		83
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)		41.5%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）		81（97.6%）
抗体検査結果		
□ HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）		1（1.2%）
f 陽性数（割合 f/c）		2（2.4%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		1.4（1.7%）
□ 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）		4（4.8%）
h 陽性数（割合 h/c）		10（12.7%）
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*		1.3（1.7%）
i 追跡可能者実数；無料ID利用者数（割合 i/c）		60（72.3%）
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）		59（71.1%）
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）		44（53.0%）

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に掛けて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつID連結の同意を得た22名においては、30歳未満が18.2%を占めた。近畿地域の居住者が95.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は13.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち63.6%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は77.3%であり、ハッテン場を利用した性交経験が45.5%であった。3人以上の複数人での性交経験も40.9%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は13.6%であった。 Condom 常

用割合は22.7%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は22.7%であった。

WEB 配布かつID連結の同意を得た38人においては、30歳未満が15.8%を占めた。近畿地域の居住者が89.5%であった。これまでの検査経験がなかったものの割合は15.8%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち34.2%であった。

過去6ヶ月間の男性との性交経験は86.8%と高く、ハッテン場を利用した性交経験が34.2%であった。3人以上の複数人での性交経験も28.9%であった。また過去6ヶ月間のPrEPの使用経験は10.5%であった。 Condom 常用割合は21.1%であった。

MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らない人・全く知らない人の割合は39.5%であった。

5) 実施しての振り返り

『distaでピタッとちえっくん』では、コロナ禍では自粛の影響や周囲の商業施設が休業していることもあり利用者数が減少していたが、今年度は平均で20人前後の利用があり、回復傾向にあった。しかし、コロナ以前では平均で30人前後であったため、検査控えは続いている印象がある。

『¥0性病検査！頼れる街のお医者さん』では医療機関は12か所に協力していただいているが、受検者数は減少傾向となった。コロナによる行動自粛の影響も受けている可能性があり、一方で初受検者数が少なかったことから、定期的な利用者にとっては、コロナの影響は低いと考える。今年度は、商業施設営業状況から紙資材配布が半減し、アプリによる広報は効果的であった。しかし、アプリによる広報は、掲載期間の短さから行動につながらなかった可能性もある。また同じ医療機関へ依頼することで、利用者が固定化しやすい可能性もある。かかりつけの医療機関があることが本取り組みのメリットではあるが、今後PrEP使用者が増えるとキャパシティ拡大することも重要であるため、新たな医療機関の開拓も必要と考える。ゆうそう検査では、商業施設へのアウトリーチ、アプリ掲載、SNSを活用（動画）した。配布方法や検査キットの使い方に加えて、U-Uや他の検査情報など交えた動画を作成した。ハッテン場での配布は、ハイリスク層へのアプローチを考慮して実施したが、協力を得られたのは1件のみであった。配布している中ですでにク

リニック検査や dista でピタッとちえつくんを受けている人がおり、検査実施時期や配布場所については検討が必要と考える。

D. 考察

緊急事態宣言や自粛要請もあり、進行は困難を極めたが、センターが持つネットワークを駆使して、宣伝、配布数増に努めた。

ゆうそう検査の取り組みでは、解析対象となる人数が少ないものの、WEB 配布でこれまで MSM 向け啓発をあまり・全く知らなかったものが全体の 4 割を占める一方で、対面配布では 2 割程度にとどまった。しかし、ハッテン場での配布の影響もあってか、対面配布の利用者の方がハッテン場を利用した性交経験が 45.5%、3 人以上の複数人での性交経験も 40.9%と感染リスク層であったことを考えると、対面、WEB 配布のいずれの手法も一定の効果は得られると考えられる。WEB 利用層にはこれまで届いていなかった層に、対面配布では配布基点を増やす等の取り組みに発展させていくことが、コミュニティ全体のセクシュアルヘルスにつながる可能性がある。

今後、コミュニティ内で対面型アウトリーチと組み合わせてどのように検査のニーズがある感染リスク層にどのようにリーチするかが課題である。

E. 結論

新型コロナ感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査の進行には困難、課題があったが、今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS Care, 2020.

DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339

2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.

3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表 (国内)

1) 井上洋士, 後藤大輔, 船石翔馬, 高橋良介, 塩野徳史, 金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020

2) 塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京

3) 塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	配布方法とIDの利用状況											合計	Pearson カイ2乗
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用						
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
mash大阪/dista (大阪)	32	3.2%	22	4.3%	38	9.2%	8	7.9%	15	5.4%	115	5.0%	
検査DATA 採取した月													
2021年9月			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.02
2021年10月			5	22.7%	9	23.7%			0	0.0%	14	18.7%	
2021年11月			4	18.2%	19	50.0%			6	40.0%	29	38.7%	
2021年12月			10	45.5%	6	15.8%			4	26.7%	20	26.7%	
2022年1月			3	13.6%	4	10.5%			5	33.3%	12	16.0%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			1	4.5%	0	0.0%			1	6.7%	2	2.7%	0.17
陰性だった			21	95.5%	38	100.0%			13	86.7%	72	96.0%	
判定不能			0	0.0%	0	0.0%			1	6.7%	1	1.3%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA 梅毒抗体検査結果													
既往あり			1	4.5%	1	2.6%			0	0.0%	2	2.7%	0.06
初めて陽性と知った			1	4.5%	0	0.0%			3	20.0%	4	5.3%	
陰性だった			17	77.3%	33	86.8%			10	66.7%	60	80.0%	
判定不能			0	0.0%	2	5.3%			2	13.3%	4	5.3%	
再罹患			3	13.6%	2	5.3%			0	0.0%	5	6.7%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
検査DATA 結果閲覧の状況													
未読			1	4.5%	1	2.6%			0	0.0%	2	2.7%	0.70
既読			21	95.5%	37	97.4%			15	100.0%	73	97.3%	
合計			22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	75	100.0%	
年齢階級 (10歳区分)													
29歳以下	10	31.3%	4	18.2%	6	15.8%			8	53.3%	28	26.2%	0.04
30-39歳	14	43.8%	8	36.4%	22	57.9%			4	26.7%	48	44.9%	
40-49歳	7	21.9%	5	22.7%	6	15.8%			3	20.0%	21	19.6%	
50-59歳	1	3.1%	4	18.2%	1	2.6%			0	0.0%	6	5.6%	
60歳以上	0	0.0%	1	4.5%	3	7.9%			0	0.0%	4	3.7%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			15	100.0%	107	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
居住地													
北海道	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0.45
東北	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東京	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
南関東	1	3.1%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東海	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
近畿	30	93.8%	21	95.5%	34	89.5%	9	90.0%	94	92.2%	94	92.2%	
中国	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	1.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%	10	100.0%	102	100.0%			
国籍													
日本	32	100.0%	20	90.9%	36	94.7%			88	95.7%	0.26		
アジア	0	0.0%	2	9.1%	2	5.3%			4	4.3%			
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			92	100.0%			
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地			8	44.4%	14	53.8%	4	40.0%	26	48.1%	0.52		
郊外住宅地			8	44.4%	12	46.2%	5	50.0%	25	46.3%			
農村地域・漁村地域			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
山間部			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
離島			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
無回答			2	11.1%	0	0.0%	1	10.0%	3	5.6%			
合計			18	100.0%	26	100.0%	10	100.0%	54	100.0%			
性別													
男性	32	100.0%	21	95.5%	36	94.7%	15	100.0%	104	97.2%	0.27		
女性	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	2	1.9%			
トランスジェンダー	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%			
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%	15	100.0%	107	100.0%			
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。													
はい			1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0.27		
いいえ			15	83.3%	26	100.0%	9	90.0%	50	92.6%			
無回答			2	11.1%	0	0.0%	1	10.0%	3	5.6%			
合計			18	100.0%	26	100.0%	10	100.0%	54	100.0%			
居住形態													
独居	20	62.5%	11	50.0%	26	68.4%			57	62.0%	0.37		
同居	12	37.5%	11	50.0%	12	31.6%			35	38.0%			
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%			
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%			92	100.0%			

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 受検行動と商業施設利用、CBO活動認知

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	24	75.0%	19	86.4%	32	84.2%					75	81.5%	0.49
ない（今回が初めての検査）	8	25.0%	3	13.6%	6	15.8%					17	18.5%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。													
ある	17	53.1%	8	36.4%	25	65.8%					50	54.3%	0.09
ない	15	46.9%	14	63.6%	13	34.2%					42	45.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）													
保健所	6	18.8%	3	13.6%	5	13.2%					14	15.2%	0.10
病院/クリニック	7	21.9%	3	13.6%	7	18.4%					17	18.5%	0.13
郵送検査	6	18.8%	2	9.1%	11	28.9%					19	20.7%	0.13
その他	2	6.3%	4	18.2%	8	21.1%					14	15.2%	0.05
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）													
ゲイバー	9	28.1%	5	22.7%	3	7.9%					17	18.5%	0.08
ゲイイベント	2	6.3%	6	27.3%	0	0.0%					8	8.7%	<0.01
ゲイショップ	2	6.3%	3	13.6%	1	2.6%					6	6.5%	0.25
有料のハッテン場	20	62.5%	9	40.9%	11	28.9%					40	43.5%	0.02
野外のハッテン場	8	25.0%	4	18.2%	6	15.8%					18	19.6%	0.62
いずれもない	8	25.0%	6	27.3%	22	57.9%					36	39.1%	<0.01
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）													
Twitter	16	50.0%	6	27.3%	15	39.5%					37	40.2%	0.24
Instagram	1	3.1%	1	4.5%	2	5.3%					4	4.3%	0.91
VERO	3	9.4%	3	13.6%	4	10.5%					10	10.9%	0.88
9monsters	28	87.5%	16	72.7%	32	84.2%					76	82.6%	0.35
Men's Net Japan	4	12.5%	6	27.3%	3	7.9%					13	14.1%	0.11
KO-MENSTV	1	3.1%	2	9.1%	1	2.6%					4	4.3%	0.46
その他	2	6.3%	2	9.1%	3	7.9%					7	7.6%	0.92
いずれもない	0	0.0%	3	13.6%	3	7.9%					6	6.5%	0.12
過去1年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。													
受け取っていない	29	90.6%	15	68.2%	33	86.8%					77	83.7%	0.07
受け取ったけど、利用していない	1	3.1%	3	13.6%	0	0.0%					4	4.3%	
受け取って、利用した	2	6.3%	4	18.2%	5	13.2%					11	12.0%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。													
よく知っている	5	15.6%	7	31.8%	7	18.4%					19	20.7%	0.17
少し知っている	8	25.0%	10	45.5%	16	42.1%					34	37.0%	
あまり知らない	15	46.9%	3	13.6%	13	34.2%					31	33.7%	
全く知らない	4	12.5%	2	9.1%	2	5.3%					8	8.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況								Pearson カイ2乗	
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用			合計
			対面配布		WEB配布		対面配布	WEB配布		
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？										
ある	32	100.0%	17	77.3%	33	86.8%		82	89.1%	0.03
ない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）										
彼氏や恋人	7	21.9%	4	18.2%	2	5.3%		13	14.1%	0.02
友達やセクフレ	23	71.9%	11	50.0%	22	57.9%		56	60.9%	0.11
その場限りの相手	25	78.1%	10	45.5%	19	50.0%		54	58.7%	0.03
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。										
ある	30	93.8%	13	59.1%	28	73.7%		71	77.2%	0.04
ない	2	6.3%	4	18.2%	5	13.2%		11	12.0%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。										
ある	22	68.8%	10	45.5%	13	34.2%		45	48.9%	<0.01
ない	10	31.3%	7	31.8%	20	52.6%		37	40.2%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。										
ある	9	28.1%	9	40.9%	11	28.9%		29	31.5%	0.04
ない	23	71.9%	8	36.4%	22	57.9%		53	57.6%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。										
ある	3	9.4%	2	9.1%	2	5.3%		7	7.6%	0.10
ない	29	90.6%	15	68.2%	31	81.6%		75	81.5%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。										
ある	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%		1	1.1%	0.03
ない	32	100.0%	16	72.7%	33	86.8%		81	88.0%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。										
ある	3	9.4%	0	0.0%	1	2.6%		4	4.3%	0.04
ない	29	90.6%	17	77.3%	32	84.2%		78	84.8%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況										
非常用	27	84.4%	12	54.5%	25	65.8%		64	69.6%	0.07
常用	5	15.6%	5	22.7%	8	21.1%		18	19.6%	
過去6ヶ月間がない	0	0.0%	5	22.7%	5	13.2%		10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%		92	100.0%	

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										Pearson カイ2乗		
	アンケート 回答のみ		ID使用				ID不使用					合計	
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
【「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。													
とてもよく知っている	11	34.4%	9	40.9%	12	31.6%					32	34.8%	0.71
具体的には知らないが、聞いた	18	56.3%	12	54.5%	20	52.6%					50	54.3%	
まったく知らない	3	9.4%	1	4.5%	6	15.8%					10	10.9%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
【「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図													
服薬したくない/どちらかといえば	2	6.3%	9	40.9%	4	10.5%					15	16.3%	<0.01
服薬したい/どちらかといえば	30	93.8%	13	59.1%	34	89.5%					77	83.7%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験													
ない	26	81.3%	19	86.4%	34	89.5%					79	85.9%	0.61
ある	6	18.8%	3	13.6%	4	10.5%					13	14.1%	
合計	32	100.0%	22	100.0%	38	100.0%					92	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）													
梅毒	4	12.5%	4	18.2%	3	7.9%					11	12.0%	0.49
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
B型肝炎	2	6.3%	2	9.1%	1	2.6%					5	5.4%	0.55
C型肝炎	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%					1	1.1%	0.39
クラミジア	2	6.3%	3	13.6%	4	10.5%					9	9.8%	0.65
尖圭コンジローマ	2	6.3%	4	18.2%	1	2.6%					7	7.6%	0.09
淋病	1	3.1%	0	0.0%	4	10.5%					5	5.4%	0.17
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%					1	1.1%	0.49
毛じらみ	5	15.6%	8	36.4%	10	26.3%					23	25.0%	0.22
性器ヘルペス	2	6.3%	2	9.1%	1	2.6%					5	5.4%	0.55
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
いずれもない	20	62.5%	7	31.8%	22	57.9%					49	53.3%	0.06
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）													
アプリ広告で知った			5	27.8%	14	53.8%		3	30.0%		22	40.7%	0.24
インターネットで知った			3	16.7%	6	23.1%		3	30.0%		12	22.2%	0.46
コミュニティセンターで知った			6	33.3%	1	3.8%		2	20.0%		9	16.7%	0.03
ゲイバーで知った			2	11.1%	0	0.0%		0	0.0%		2	3.7%	0.12
友達から聞いた			0	0.0%	2	7.7%		1	10.0%		3	5.6%	0.34
その他			4	22.2%	3	11.5%		1	10.0%		8	14.8%	0.35
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。													
簡単だった			11	61.1%	17	65.4%		6	60.0%		34	63.0%	0.99
どちらでもない			3	16.7%	4	15.4%		2	20.0%		9	16.7%	
難しかった			3	16.7%	4	15.4%		2	20.0%		9	16.7%	
無回答			1	5.6%	1	3.8%		0	0.0%		2	3.7%	
合計			18	100.0%	26	100.0%		10	100.0%		54	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。													
回答した			15	83.3%	25	96.2%		8	80.0%		48	88.9%	0.50
していない			1	5.6%	0	0.0%		1	10.0%		2	3.7%	
無回答			2	11.1%	1	3.8%		1	10.0%		4	7.4%	
合計			18	100.0%	26	100.0%		10	100.0%		54	100.0%	

2021年度の大阪の状況

①コミュニティの状況
 大阪府の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の要請により開館日時を縮小し、飲食を伴うイベントの禁止や最大来場者人数の制限を設ける等をし運営した（金曜、土曜、日曜（週3日開館）17:00～21:00）。
 また、新型コロナウイルス感染症の対策として、来場者に利用者カードを発行し、利用者に感染者が出た場合速やかにHPに状況を説明し、体調に配慮するアナウンスをホームページに掲載出来るような取組みを行った。

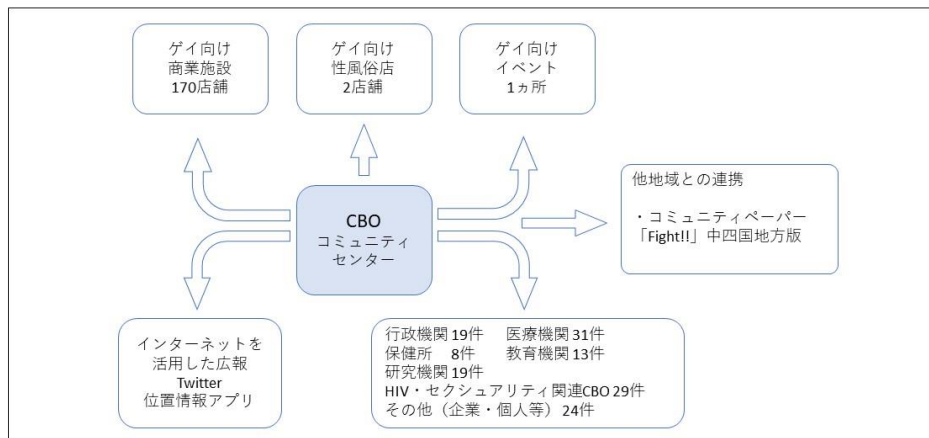
②検査機会の動向
 昨年度は、保健所などの検査機会が一時停止となり、検査機会の減少が見られた。
 今年度の5月の時点では、大阪府下の保健所の一部で緊急事態宣言を受けて中止や人数制限を設け実施をしていたが、現在は通常で実施をしている。

地域の商業施設数と連携

2021年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）	備考
ゲイバー	235	133	56%	
有料ハッテン場	15	10	66%	
ゲイナイト	?	1	—	
ウリ専	30	1	3%	
ゲイショップ	15	7	46%	
サウナ・ホテル	4	4	100%	
マッサージ	75	1	1%	
ゲイ雑誌	?	3	—	
スマホアプリ	?	2	—	
ウェブサイト	?	1	—	
ゲイサークル	?	1	—	
その他（ ）				

普及啓発活動の状況



コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数	：常勤 1人
	非常勤 3人、ボランティア 10人くらい
開館曜日	：水、木、金、土、日（週5日）
開館時間	：17時～22時
総来場者数*	：1,698名（前年度1,874人、前年度比9%減）
初来場者数*	：293名
相談件数*	：402件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談 343件）

*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開
 同志中国語講座（講座・全般）／漫研（講座・全般）／kinky cafe（カフェ／展覧会・全般）
 レインボーアディクションミーティング（カフェ・全般）／CAMP！（カフェ・全般）
 LGBTのためのストレスフリーワークショップ（講座・全般）／サロン・ド・オニ（カフェ・全般）

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
来場者数	126	113	85	211	109	166	190	266	266	166
うち、新規	24	22	3	36	24	35	16	35	57	41
相談件数	6	18	3	2	52	5	69	87	131	29
WEB活動 HPアクセス数	4,896	6,282	3,954	5,056	4,283	6,839	2,316	4,060	2,514	4,295
WEB活動 SNSアクセス数	109,494	101,500	49,473	77,417	208,689	136,179	106,517	163,520	102,737	66,461

ゲイ向け商業施設へのアウトリーチ活動

プログラムの目的：コミュニティセンターの周知とHIV感染症・エイズに関する啓発活動の可視化
 対象：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者
 予算：コミュニティセンター事業費
 実施内容：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者に向け、当事者参加型の資材配布活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
セクシュアルヘルス・ HIV検査機関や医療機関の情報誌	3,013	中止	2,547	2,722	中止	2,188	3,593	3,568	1,127	3,633
イベント情報資材							4,043	5,700	3,131	
検査会情報資材	8,994		2,782			3,916	6,436		3,678	

参加ボランティア数：延べ65人
 累計配布物数：61,071部
 配布：MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか145件、計305件。
 対面での配布によってセンターの認知や雰囲気を与え、その認知度向上と来場促進を図った。

distaでピタッとちえっくん!

プログラムの目的・必要性：HIV検査会をコミュニティセンターで行うことで、定期的な検査機会の推進をコミュニティに根付かせ、ゲイコミュニティにおける検査意識を高める。
 対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
 予算：地方行政事業費



内容：大阪市、大阪健康安全基盤研究所と協働し、無料・匿名でHIV/梅毒検査を実施。外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においてはきちんとした知識を提供する事の出来る機会を設けた。



実施内容（資料・WEB展開）：
 ゲイコミュニティで人気のイラストを起用した検査会情報資料やスケジュール表を作成。
 Webサイト「distaでピタッとちえっくん」およびdistaアカウントのtwitterをベースに、コミュニティのキーパーソンやフォロワー数の多い利用者などのネットワークを活用し、ゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでキャンペーン期間の前後7日間バナー広報を行い受検数向上に努めた。

distaでピタッとちえっくん!

2021年度	検査概要						計
	1回目 5月	2回目 7月	3回目 9月	4回目 11月	5回目 1月	6回目 3月	
受検者数	20人	38人	18人	23人	24人		123人
初利用者	3人	12人	3人	3人	6人		21人
指紋登録者数	18人	34人	16人	18人	19人		86人
	90.0%	89.5%	88.9%	78.3%	79.2%		69.9%
結果受け取り	19人	38人	17人	22人	24人		96人
HIV陽性判明数	0人	1人	0人	0人	1人		1人
	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	4.2%		0.8%
梅毒受検者数	19人	38人	17人	21人	4人		95人
梅毒陽性判明数 (要治療)	5人	6人	2人	人	4人		13人
	25.0%	15.8%	11.1%	0.0%	16.7%		10.6%
梅毒陽性判明数 (既往含む)	5人	8人	4人	1人	4人		18人
	25.0%	21.1%	22.2%	4.3%	16.7%		14.6%

専門家による相談会（しゃべるかあ）

『専門家のおしゃべりイベント』
しゃべるかあ

「誰かにしゃべりたい」「誰かに聞いてほしい…」
 なんて、思うことはありませんか？
 「しゃべるかあ」は、distaで気軽に専門家とおしゃべりするプログラムです。
 日頃の思い(話しかけたこと・思いついたこと)や考えごとや悩み、
 性差や性差意識についてなど、みなさんのお話をじっくりお聞きします。
 匿名でも大丈夫です。
 誰かに伝えたいことを思いっきりしゃべって、スッキリしませんか？
 話したいことなんて数ローという方には、
 <自分へに気づく「読み書きワークシート」>や
 「自分の心のチェックシート」も、お貸ししています。
 イベントの持ち合わせのついでにおいで、友達と一緒に参加もできますので、
 是非ご参加ください。

【判定】 満足 ちょっとお疲れ ややお疲れ かなりお疲れ

気持ちのチェックシート
 Q:過去30日の間に、どのくらいの頻度で次のことがありましたか？
 当てはまるように○をつけて下さい。

質問	頻度	頻度	頻度	頻度	頻度
	0	1	2	3	4
神経過敏に感じましたか	0	1	2	3	4
結果待ちに感じましたか	0	1	2	3	4
その他、落ち込みや不安に感じましたか	0	1	2	3	4
気分が落ち込んで、何かが起こっても気が付かないように感じましたか	0	1	2	3	4
自分自身を認めない人だと思われましたか	0	1	2	3	4
自分自身を認めない人だと思われましたか	0	1	2	3	4

●実施者のチェックシートに記入
 ●スタッフとワークシートに記入
 ●スタッフとお話しする

開催期間：8月～12月 総参加者数：70名

専門家による相談会（しゃべるかあ）

プログラムの目的：男性同性愛者のうち、HIV・エイズ及び他の性感染症に対する不安や悩み、またその他の生活や就労についての悩みなどをカウンセリングすることにより、行動変容を促進し、メンタルヘルスの向上とHIV・エイズ及び他の感染症の拡大防止をする。
 予算：地方行政事業費



実施内容（資料・WEB展開）：
 アウトリーチ資料の作成やSNSやアプリなどインターネットを活用し広報。



参加者：57名 オンライン参加：13名（合計70名）
 今年度の特徴として、ゲイ向けアプリに広報を行ったことで、場所を選ばず相談会を知る機会が増え、10代の相談者や旅行者、カウンセラーになりたいといった相談内容など、相談者の多様性が見受けられた。電話相談や医療機関等の公的な施設での相談と違い、どんな事柄でも話すことができる敷居の低さや、専門職者だけでなく当事者性の高いスタッフも常駐している安心感が、相談者にとって利用しやすい資源として認知されたものと考えられる。

¥0性病検査！頼れる街のお医者さん

プログラムの目的：大阪府内のHIVの感染リスクが高いとされるMSMのHIV等検査の受検機会の拡大を図るために実施する「男性同性愛者向けHIV等検査・相談事業」について、WEBサイトの作成及びアプリ広告掲載等の広報を行う。
 対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
 予算：コミュニティセンター事業費/地方行政事業費/寄付金



実施内容（資料・WEB展開）：
 キャンペーン情報、検査前後等の相談や支援の情報、検査の流れや検査方法の違いなどを記載した資料及びWebサイトを作成しアウトリーチやゲイ向けアプリのバナー広告掲載などの広報を行った



実施期間：2021年8月1日～9月30日（1期）、2021年11月1日～12月18日（2期）
 検査実施医療機関：大阪府外も含む12医療機関
 受検者数：1回目 即日検査120件（HIV陽性2件、梅毒31件）
 2回目 即日検査113件（HIV陽性2件、梅毒21件、B型肝炎1件）



¥0性病検査！頼れる街のお医者さん

R3年度 大阪府クリニック検査事業 集計

項目	1期	II期	合計			
			人数	（%）		
受検者数	120 (6週)	113 (5週)	0			
アンケート結果	アンケート回答数（率）	114	98	212	91.0	
	アンケート回答者のうち検査初回者数（率）	6	11	17	8.0	
	アンケート回答者のうち対象外（疑い含む）数（率）	2	1	3	1.3	
	アンケート回答者のうち兵庫県受検者数（率）	16	16	32	15.1	
陽性者数	HIV 全 初 既	2 0 2	2 2 0	4 2 2	1.7 0.9	0.9
	梅毒 全 初 既	31 4 27	21 1 20	52 5 47	22.3 2.1	20.2
	B型肝炎 全 初 既	0 0 0	1 0 1	1 0 1	0.4 0	0.4

南界堂通信

プログラムの目的・必要性：中高年層MSMが経てきたHIV感染者に対する偏見・差別や当事者の意識のありようを踏まえ、彼らが抱える課題やライフプラン、人生や社会との関わりについての情報、街の情報に加え、セクシュアルヘルスに関する情報、HIV感染者及びその周囲の人たちに必要な情報、HIV検査機関や医療機関の情報などを収集し掲載。世代的に親しみのあるタブロイド判で作成。年4回季刊発行。distaにて関連イベント「南界堂茶会」年2回開催。
 対象となる人や施設：中高年層が主な対象層。商業施設利用者
 予算：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費 / 寄付金

実施内容（資材・WEB展開）：次ページに写真
 紙資材は商業施設や行政へのアウトリーチや郵便送付で設置。distaホームページにPDFも掲載。
 今年度よりTwitter「南界堂通信」アカウント開設。
 医療や行政に関わる人、コミュニティやゲイタウンのキーパーソンをインタビュー形式で取り上げることでプログラムや街により馴染みを感じてもらえる。食や文化の情報によって孤立や閉塞を防ぐことに繋がるよう発信。

結果：
 実施日時）年4回発行。
 配布数）4,000部／回 MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか145件、計305件。
 実施した反応）商業施設への配布は緊急事態宣言時やまん防時に難航したがdistaに取りに来る方も存在するなど、刊行10年の積み重ねはコミュニティにも馴染んでいるとも言えるだろう。



ゆうそう検査の取り組み

2021年度

対象：dista利用者やゲイ向け商業施設利用者
 配布方法：TwitterのDMを活用したWeb申込、コミュニティセンターでの対面配布、LGBT関連イベント、ゲイ向け商業施設
 研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費 / 寄付金

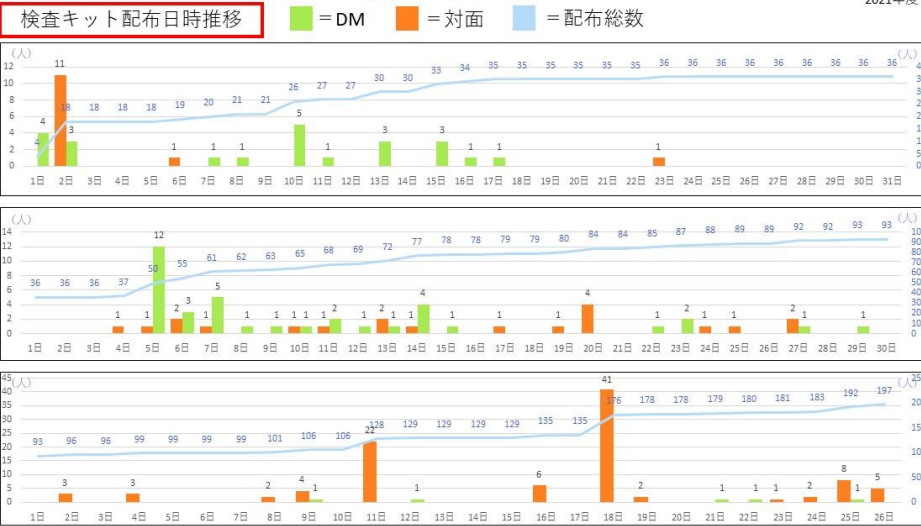
工夫した内容（資材展開 / WEB展開 / 資材・WEB展開）：
 ゲイ向け商業施設利用者向け資材「イクなび」（MASH大阪寄付金制作）、情報を掲載し、ゲイ向け商業施設アウトリーチした。またゲイ・バイセクシュアル男性がよく利用するアプリでのバナー広報、twitterでの広報を実施。
 今年度は有料ハッテン場での配布を行い、よりリスクの高い層の利用を促進した。
 Twitter広報ではdista利用者と共に12本の動画を作成した（合計インプレッション数：43,132、動画総再生回数：7,675回。）

配布期間：令和3年10月1（金）～12月26日（木）

dista受取	ハッテン場受取	イベント受取	Twitter受取	合計
59	32	41	68	200

ゆうそう検査の取り組み

2021年度



ゆうそう検査の取り組み

2021年度

ゆうそう検査の広報としてTwitter用に
 配布方法や検査キットの使い方などU=Uや検査情報など交えた動画を作成
 合計インプレッション数：43,132
 動画総再生回数：7,675回。



次年度の取り組みについて

- ・コロナ感染状況による開館や情報提供への影響に柔軟に対応出来るようなICT活用による発信の工夫
- ・5ヶ年に渡る第4次大阪市エイズ対策も開始となるので、指針に沿った協力を行い、受検推進企画にも活かす
- ・検査プログラムやエイズウィークスに照らし合わせた内容の展示会を開催し、来場を促し当事者の繋がりを持ちやすいコミュニティセンターとしての施策
- ・PrEPの見守りや相談について地域医療との連携
- ・コンドームの使用率が下がっている事や、出会い系アプリでも生掘種付けなどを見かける。そのため予防についての情報をしっかり発信していきたい。